

板橋 松永記念館周辺

明治の佇まいを今に残す板橋界隈。松永記念館は、明治、大正、昭和を生き、日本の「電力王」と呼ばれ茶人耳庵としても知られた松永安左卫門が晩年を過ごしたところです。

松永記念館、老櫻荘

日本の「電力王」といわれ、実業界で活躍をした松永安左エ門が自宅の敷地内に建設したもの。老櫻荘(国登録有形文化財)は、松永が晩年過ごした所で、茶室等の意匠をこらした近代数寄屋建築。庭園は「日本の歴史公園100選」に選定されている。

開館時間 9:00~17:00

休館日 年末年始

入場料 無料 茶室利用は有料
(事前申込制)

香林寺

曹洞宗小田原三寺の一つにあげられる古刹で、北条氏綱夫人の開基といわれる。また、久野の總世寺とともに早川の宝珠山海藏寺の末寺である。



山月

皆春荘

元首相・清浦奎吾が明治の末に建て、その後、山縣有朋が古稀庵の別荘として使用したという数寄屋風の建物。かつては庭越しに見える相模湾の風景が大変素晴らしいものであったといわれている。(公開していません)



伝肇寺

大正7年(1918)から8年間、詩人白原秋が境内に「木兔の家」を建てて住み、詩・短歌・俳句・童謡と多彩な文芸活動を展開した。本堂横には「赤い鳥小鳥」の碑がある。

玉伝寺

昔から道中薬・常備薬の「ういろう」で知られる外郎(ういらう)家の祖である宇野藤右衛門定治が開基した寺。寺内には外郎家代々の墓がある。



松永記念館

老櫻荘

秋葉山量観院

慶長元年(1596)に、小田原城主大久保忠世が信仰していた遠州の秋葉山大権現を勧請したもの。毎年12月6日に火防祭があり、諸儀式の後、煙火になつた上を、素足のまま踏み渡る火渡りが行われる。



秋葉山量観院

宗福院(板橋地蔵尊)

宗福院の地蔵尊は「板橋のお地蔵さん」として親しまれている。新仏の供養に3年間統けて参詣するという風習があり、毎年1月と8月の23・24日の縁日には、大勢の参拝者でにぎわう。

常光寺



宗福院



小田原用水



内野邸



朝倉邸



植村邸



ふじやま砦



板橋地蔵尊



小田原用水取入口

小田原用水取入口

小田原用水は、箱根芦ノ湖を水源とする早川の水をこの地で取り入れ、旧東海道に沿って城下内へ流した上水道で、後北条時代に造られたものである。形態は変わったが、現在でも用水の取入口が残っている。

箱根登山鉄道



ビーバートサン前



大塚支所



とうふ工房



1

大塚支所

西湘バイパス

早川

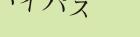
箱根板橋駅



居神神社



光円寺



大久寺



至小田原

東海道・山陽新幹線

開

居神神社

光円寺

大久寺

だいきもじ

大久寺

東海道本線

